



「ベトナム国鉄」と「ヤシマキザイ(日本)」との長期的な協力発展

2013年12月3日、株式会社ヤシマキザイ(日本)の佐藤厚 代表取締役社長一行がベトナム国鉄に来訪し、グエンダットテュオン総裁と面談した。

面談には、ゴーカオバン副総裁や国際協力部と機関車車両部の各部長も同席した。



冒頭、グエンダットテュオン総裁より、ベトナム国鉄の発展に向けたヤシマキザイの各種協力に対して、謝意が表明された。

続いて、今後の長期的な協力発展について、具体的な意見交換が行われた。

その中で、グエンダットテュオン総裁は、以下とおり返述べた。

ベトナム国鉄は、高品質に加えてコストパフォーマンス等も十分考慮しているので、新規商品の採用決定については、ある程度の時間が必要である。

ベトナム国鉄は、以前、オーストラリアや中国から数台の機関車を購入したが、最終的に、コスト高(改造費用、輸送費用、複雑な輸入手続き等)になった。

このため、現在は日本を含めた外国製中古車両の導入よりも、ベトナム国鉄の技術発展のため、自国での新車製造に注力している。

以上